

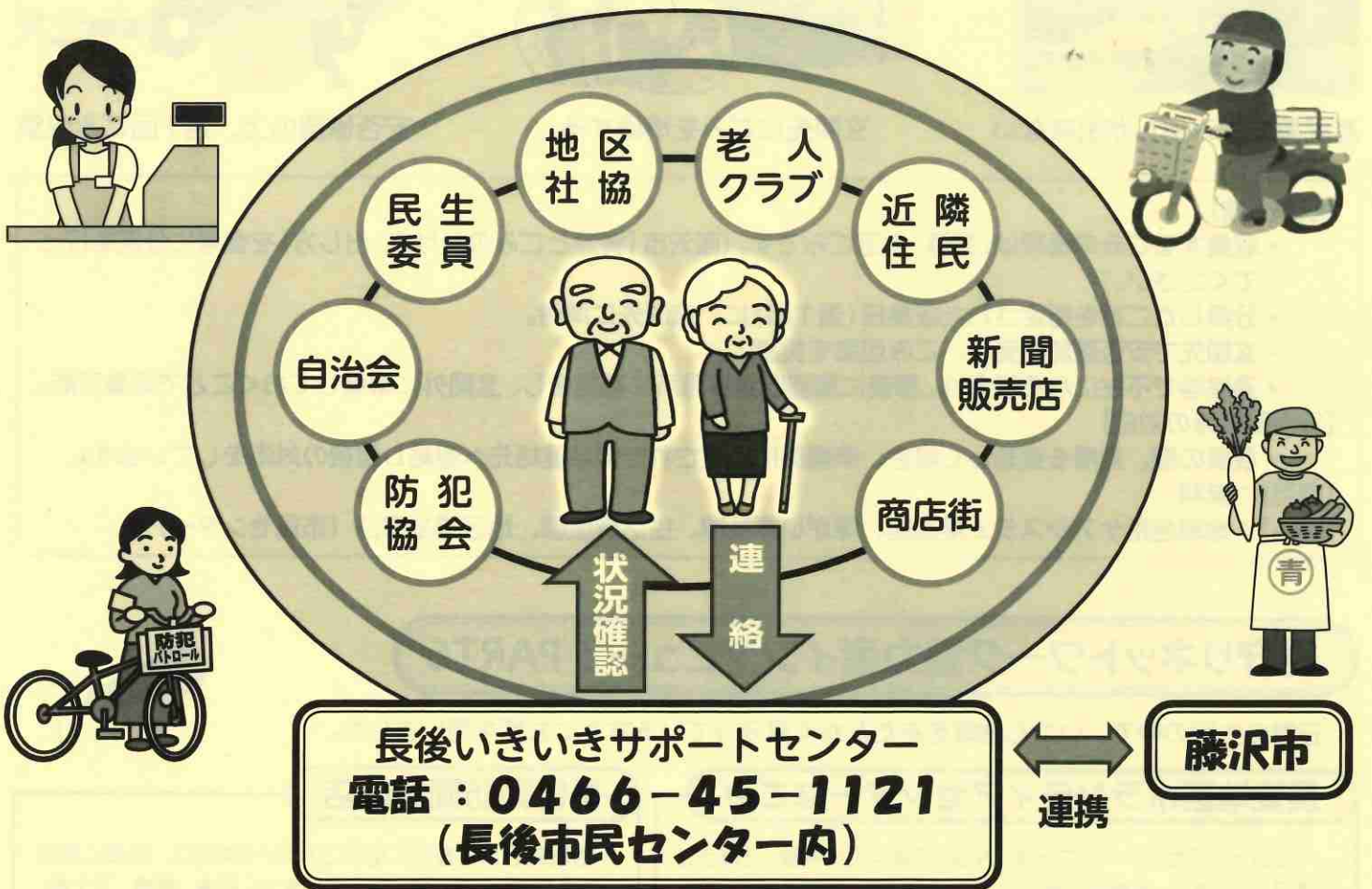
ちょうご 見守りネットワーク



●2018年4月1日発行 ●長後いきいきサポートセンター(地域包括支援センター) ●電話：0466-45-1121

ひろがっています！見守りネットワークの輪

ちょうご見守りネットワークとは、地域の皆さんが、日常生活や仕事において高齢者の方のちょっと気がかりなことに気づいたときに、いきいきサポートセンターに連絡していただくことで、高齢者をゆるやかに見守っていくものです。



H29年4月からH30年3月までの通報・相談件数は95件

H29年4月からH30年3月までに、高齢者の見守りや安否確認について長後いきいきサポートセンターに寄せられた相談件数は95件でした。

通報・相談者の内訳は右のグラフの通りです。今年度は昨年度に比べて約2倍の相談件数となっています。近隣住民の方や医療機関からのご連絡が増えています。

相談内容としては、

- 体調不良や健康に対する不安
- 認知症について
- 安否がとれなくて心配
- 介護困難
- 生活困難 など

〈通報・相談元〉



一声ふれあい収集について

藤沢市では介護等を必要とする概ね65歳以上のみの世帯や障がい者のみの世帯、同居家族がいる場合でも同居者が虚弱、年少者である世帯等で資源・生活ごみを収集場所まで持ち出すことが困難でボランティアなど他の方の協力が得られない世帯を対象に、市職員が玄関先から安否確認の一声をかけながら週1回、収集を行うサービスです。利用にあたっては、申請を行い市の認定が必要となります。



高齢等でゴミ出しが出来ない



玄関先にゴミを準備する



安否確認の上、週1回ゴミ収集

【収集方法】

- 収集するゴミの種類は、資源・生活ゴミです。(藤沢市「資源とゴミの分け方・出し方」を参考に分別を行ってください。)
- 分類したゴミを指定された収集日(週1回)に、玄関先に準備。
- 玄関先で安否確認を受け、ゴミ収集を実施。
- 通院等で不在になる場合は、事前に南部収集事務所に連絡をし、玄関外に準備しておくことで収集可能。

【安否確認時の対応】

- 収集の際、異常を察知した場合、申請時に指定された緊急連絡先へ連絡し臨機の対応をしています。

【費用】：無料

【申込】：地域包括ケアシステム推進室、障がい福祉課、生活援護課、地区福祉窓口（市民センター）

見守りネットワーク協力者インタビュー PART6



日常の生活の中で、いつも地域をあたたく見守っている方々にお話を伺いました。

長後地区ボランティアセンターなごみ

ボランティアセンターなごみは、平成28年4月に開設、ちょうど3年目となります。高齢者や障がい者などの方で、掃除や家具移動、植木の剪定、買い物などお手伝いが必要な方の支援をしています。

ボランティアはコーディネーターを含め25名おり、年間で約450件、570人のご利用者の対応を行っています。月・水・金の9:00～12:00に受付を行い、月～金の9:00～17:00に活動を行っています。ボランティアが、得意な分野や出来る事を分担し行っています。

訪問時は、サービスを提供するだけでなく、言動や生活状況にも目を配り、状況に応じていきいきサポートセンター等の関係機関に連絡連携しています。今後はさらにボランティアを募り、毎日活動を行う事で、さらに地域に貢献したいと考えています。



(塚越さん)

長後諏訪新聞店

当新聞店は、長後に昭和22年から開業し、地域に根ざした新聞店として、取り組んでいます。長後、高倉、下土棚、土棚、大和市福田の地域の7000世帯以上に配達しています。

配達先の6割以上が高齢者ですが、日頃から顔なじみの関係ができていますので、配達や、集金の時にちょっとした変化に気づく事が多く、特に新聞が3日以上たまっていたり、電気がつけばなしの状態が続く安否確認が必要と感じた時は、すぐにいきいきサポートセンターに連絡するようにしています。

新聞を読む世代も高齢化が進んでいますが、高齢者の大切な情報源としての役割を果たしながら、若い世代にも読んでもらえるように努力していきたいと思っています。



(諏訪さん)